

栗原将人研究室

代数的整数論、岩澤理論、 p 進コホモロジー

学生からのコメント

栗原研究室、学部4年の白川です。私は現在、代数的整数論について学んでいます。整数論にはフェルマーの最終定理に代表されるように、問題自体はわかりやすいにも関わらず、それを解くのは大変難しいといった問題が多くあり、そこに数論の奥深さを感じるのではないのでしょうか。斯く言う私も深遠な数論の世界の一端に触れているに過ぎず、まだまだ知らない世界が広がっていると思うと心躍ります。

現在私たちの研究室には、4年生4名、修士課程3名、博士課程1名が在籍しています。4年生は週1回セミナーで、読んできた本（今年はサミュエルの‘数の代数的理論’）の内容について発表しています。セミナーでの発表は決して楽なものではありませんが、先生や修士、博士の先輩にも助けて頂きながら理解を深めていける貴重な時間です。

栗原研恒例のイベントとして、毎年夏に合宿を行っていて、勉強はもちろん、今年はハイキングや野球をしたり、幾何の研究室と合同バーベキューをしたりと大変濃密で楽しい時間を過ごすことができました。また年2回の野球の早慶戦観戦も我が研究室では恒例のイベントです。食事会、飲み会もたびたび開かれ、学年の枠を超えて仲の良い研究室だと思います。飲み会や合宿には栗原研OBの方がいらっしゃってくれることも度々あり、研究室を通しての絆の強さ、栗原研への愛を実感しています。



上の写真は、今年の合宿で撮った写真です。夜はかなり激しい飲み会になるのか、と恐れていたのですが、そのようなことはなく、なかなか楽しかったです。ただ勉強合宿だというのに、朝6時に起きて女神湖という湖の周りを走ったのは驚きました。先生が、参加は自由です、とおっしゃいましたが、一番下の4年生としては、やはり走らざるを得ないかと思って、走りました。霧の中、朝日の昇る湖を走るのは、最初に思ったよりずっと気分爽快でした。もちろん、勉強もしっかりしました。したつもりです...

教員からのコメント



整数論を研究しています。数の世界に入っていくと、深く進めば進むほど美しい世界が広がるのです。ちょうど、山に登ったときに、上に行けば行くほど美しい景色が広がるように、先に進めば進むほど、美しい景色が広がります。写真を撮ってきて、見せてあげたいとも思いますが、やはり写真では本物の感動は伝わらないようです。自分で汗をかいて登ってみて、初めてめぐり合える景色は格別です。数理科学科に来て、数学

を勉強してみると、今までの数学は子供向けのものだったことがわかると思います。皆さんも、数理で本物の数学に出会いませんか。なお、整数論は代数系に分類されていますので、まずは代数を勉強してほしいと思います。今までの数学が苦手な人でも、これからの勉強で代数系の科目は十分に間に合います。要は興味を持って自分で進むことです。数理科学科で数の世界の神秘を体験してほしいと思います。

栗原 将人